

市長タウンミーティング
～あなたの“ちょっと気になる”を市長に聞いてみよう～

日時：令和８年５月２３日（土）１０時００分～

場所：朝霞市役所 大会議室

参加者：２１人

意見交換のまとめ（概要）

参加者からの意見	市長等からの回答
【参加者】 ・前回、タウンミーティングに出席し、宮台バス停（根岸台３丁目）そばの交差点が危ないと話をしたところ、すぐに視察に来てくれた。その際に、暗いので街灯をつけて欲しいとお願いしたら、今すぐとはいかないと返事をもらった。また、白線を引いてくれるという話で、道路にはすぐに白線を引いてくれたが、歩行者のところには引いていないが、今後、歩行者のところにも白線を引いてくれるのか。	【副市長】 ・市・県・警察が立ち合いし、皆様からの意見をお伝えした上で、今後の対策についてそれぞれが動いております。 街灯の設置も設置するという方向で動いてもらっておりますので、もう少しお待ちください。予算など議会の承認が必要なこともありますので、時間がかかることもありますが、お待ちください。 歩道の箇所については、後ほど詳しく場所についてお伺いいたします。
【参加者】 ・人が多く集まる施設にスロープを設置してほしい。人から聞いたのだが、最近できた高齢者事業団の建物も階段しかないそうだ。	【副市長】 ・バリアフリーの観点というのは、確実に実施していかなければならないことです。しかし、既存の施設については、スロープを設置するのにスペースの問題とか、なかなか思うように設置できないこともあります。市としましては、施設の大きな改修をする時に、確実にバリアフリーの基準に合うように設計を行って、順次、改修をしています。もちろん、新築の建物には設置していきます。 【市長】 ・バリアフリーの視点を入れて、しっかり取り組んでまいります。

【参加者】 ・市の人口を増やすこと、若い世代の方に朝霞に住んでもらうように誘致してもいいのではないかと。子育てもいい環境でできることをもっとアピールして、かつ、誘致するために住宅支援などをして、メリットを宣伝すると若い方に朝霞市に住んでもらえるのではないかと。子育ての全般的な支援、こどもを産む時から高校を卒業するまでの間、支援すれば魅力になると思う。市でやっていると思うが、広報を見ても十分にアピールされていないように思う。 ・自然エネルギーをもっと活用してほしい。以前、ごみ焼却場のそばに入浴施設があり、ごみ焼却の熱を利用していた。たぶん、経営がうまくいかなくなり、なくなったと思う。市の施設を作る際には、エネルギーのことも一緒に考えたい。	【市長】 ・前向きなアイデアを大変うれしく思います。子育て世代の方にもっと朝霞に来てもらって、盛り上げていけるような、そういうポテンシャルが朝霞にはあるのだという意見だと受け止めました。 今、市では、若い方が使う SNS の発信に力をいれています。子育ての方向けの補助金などの支援はなかなか難しいですが、来ていただいた方に子育ての支援を切れ目なくすることは、市の施策になっています。 ・クリーンセンターそばに以前ありました「湯めぐうじょう」は地盤沈下等の理由により使用できなくなってしまったものです。 市では、今年の2月末にゼロカーボンシティ宣言をしております。39のアクションを定めていますので、市民の皆様と一緒に協力しあって進めて参ります。 学校などでは、太陽光パネルの設置もしております。
【参加者】 ・96歳の母の介護をしているのだが、自分が留守の時に、認知症の母が家の中から家の鍵を開けてしまう。鍵を二重ロックにしようと思うが、鍵の設置費用が高額のため、介護保険を利用したいと思うが、介護保険の適用にならないとのことだった。介護保険を適用することはできないのか。	【市長】 ・介護保険等に関してですが、全体的に保険としてやっておりますが、もっときめ細やかな支援ができないのかという意見と受け止めました。直ちに取り組みますとは、なかなか言えませんが、貴重なご意見だと思います。 多角的に支援できるように考えていきたいと思っています。

【参加者】 ・自分の家の前の前に大木があり、屋根を覆うくらいに枝が伸びている。家主がおばあちゃんで、どうにかしてくださいと言っても「お金がない」と言って、何年も放置されている。仮に倒木なり、ものが飛んできて、被害があった場合に、その責任はどこにあるのか。	【副市長】 ・市の様々な公共施設にも木は生えており、昨今、老木化についてニュースにもなっています。先ほどのカーボンニュートラルで大切な一方で、倒木などのこともあります。木を大切にしながら、適切な管理が必要だと思っています。 民地に立っている木が倒れて、所有者の責任だと認められるようでしたら、所有者の責任になると思いますが、予期できないような突風が吹いた場合には、所有者の責任を問えるのかは裁判などによらないと分らないと思います。 基本的には、自分の土地に生えている、立っている樹木については、所有者責任が基本になるかと思っています。
【参加者】 ・黒目川の朝霞三中から浜崎黒目橋までの左側の歩道が荒れ放題になっている。桜並木で高齢者の散歩コースであり、若い人のランニングコースにもなっているので、右側の整備より先に左側の整備をしてほしい。 また、左側の桜並木の切り株がかなり多くなっているため、早期に桜の植樹をしてほしい。 ベンチをもう少し増やしてほしい。	【市長】 ・黒目川の遊歩道、黒目川の管轄は県になっております。桜の木の管理が県になっているため、市で管理することはなかなか難しい面もありますが、いただいた声はしっかり届けてまいります。 ベンチも順次、増やしているところです。 【副市長】 ・河川用地については、県が全体を管理しています。県は、もう桜を植えないということで、桜を植えるには、民間や市が県の許可を取って植えるということが、今の県のスタンスになります。 桜も老木化が進んでおりますが、根っこまで取る抜根をすると、堤防まで痛めてしまうという河川管理上の課題があります。 桜は朝霞市の重要な観光資源で、市民の憩いの場所ですので、県がやらないからといって、市が何もやらないということではありません。重要な課題として認識しておりますので、御理解いただければと思います。

【参加者】 ・朝霞市の人口は、年間、千人ぐらい増えていると思うが、財政の状況は。 ・市のインフラの更新は、峠を越えたのか。かなりの負担が残っているのか。	【市長】 ・先日の新聞報道にもありましたが、朝霞市は人口の増加率が県内でも凄く高いと報道がありました。しかしながら、市からの転出ということも承知しております。計画にしっかり位置付けながら、定住していただけるように、点としてとどまらないように、朝霞にいていただけることが線になるように施策の展開を進めてまいります。安心して住み続けたいというまちづくりを進めたいと思います。 ・公共施設の老朽化というのは大きな課題と認識しております。計画を立てて進めて、長寿命化であるのか、改修であるのか、分類しながら進めさせていただいております。
【参加者】 ・朝霞市への提案・申し入れに対して、「他市の状況をみて」と返事をもらうが、この言葉は禁句にしてほしい。他市のやらないことをやってほしい。 ・指定管理者が毎年行っているアンケートを役所は見ているのか。提案したことが反映されていない。アンケート内容を市報に載せるべきだ。また、担当部署は指定管理者の管理、指導ができているのか。 ・一般会計で民生費が歳出の60%ぐらい占めているが、一括ではなく、分類して表示してほしい。 ・ゼロカーボン宣言、39アクションで、市はどのくらいの達成度を考えているのか。市民へのお願いがほとんどで、行政の取り組みが非常に分らない。 ・民生委員が164人必要で、市報では、1	【市長】 ・「他市の状況をみて」の判断ですが、他市がやっているから、やる、やらないという横並びの判断は決してせず、朝霞市にとってベストなのかというところでの判断をさせていただきます。 - ただ、朝霞市との市境に住んでいる方のことを判断する際に、不利益にならないようにはと考えております。 ・指定管理者に指導ができているのかということですが、毎年、モニタリングはしっかりやっております。 - アンケート内容を広報に載せることは、大変なボリュームがありますので、限られた紙面に全て載せることは、極めて難しいです。しかしながら、皆さんのお声を載せることは大切なことですので、ホームページ等に今後掲載できるように検討したいと思

9人が欠員とあったが、現状、どういうふうになっているのか。	います。 ・民生費が60%ということの内容は、かなりのボリュームがあります。すでにホームページに予算書・決算書を載せております。詳しく載っておりますので、ホームページをご覧くださいと思います。市報の中でできることは、「詳細はホームページに」など記載できるのかなと思います。 ・ゼロカーボン宣言、39アクションについて、関心をお持ちいただきありがとうございます。お願いがほとんどですが、それは皆様と共に取り組んでいく、市だけではなく、協力していただいて成り立つことですので、御協力をお願いします。 ・民生委員の欠員、数多くあります。少しずつでもお願いして、やっていただける方をお願いしているところです。ぜひ、地域のことを熟知している方をお願いしたいと考えており、欠員が減るように取り組んでいるところです。
【参加者】 ・中学生の子を持つ親だが、学校ではデジタル化進んで、紙の手紙がだいぶ少なくなってきた。デジタル化によって、学校からの家庭への連絡が、スマホ、タブレットで行われている。私は、デジタル化に不慣れなので、よくわからなことがある。紙の時代に育った世代には、紙が一番慣れていて、非常に不便さを感じる。ちょっと考えないといけない複雑な内容だとスマホの画面だと内容がよく理解できないことがある。紙の支持者というの排除しないでほしい。	【市長】 ・現在、市内の小中学校ではテトルというスマホ等に全ての情報がなるべく通るように進めさせていただいております。紙の良さもありますが、紙だと保護者の方の手元に届かない、どこかにいってしまったとかいうこともあります。これからもテトルで進めさせていただきたいと考えておりますが、紙を希望する方を学校で排除しているということは全くありません。学校にお問い合わせいただきたいと思います。

【参加者】 ・ 20年とか空き家になっているところがあるので、そのままだと迷惑になっている。持ち主は、遠くにいて、連絡をつけられない。例えば、20年、30年、空き家の場合、税金が家が建っていないのと同じぐらいのものにならないのか。 ・ 外国人が増えてきて、文化などが違うため、日本語を教えられないのか、ごみの問題など、とても身近な問題なので市で何か対処してくれないのか。	【副市長】 ・ 空き家については、過疎地などに比べれば、大きな問題にはなっていませんが、着実に増えてきております。市も空き家については、積極的な対応を行っております。所有者が確認できるものには適切な指導を行っております。市民の皆様から空き家があるという情報を遠慮なく、お寄せいただきたいと思います。 所有者がいないような空き家は、市が空き家を解体し、土地を売り、そこから費用をもらうということも始めております。 制度的には、家があっても住んでいない空き家については課税を強化するということも出来ますので、検討する必要があります。皆様と協力して、管理不全の空き家を除去していきたいと思います。 【市長】 ・ 外国人の方、朝霞も着実に増えてきております。市の取り組みとして、多文化の推進サポーターがあり、ごみについては、様々な言語でごみの分類が分かるように取り組みをしております。また、分かりやすい日本語での表記するようにもしております。日本語を学べるところについては、県と連携して進めさせていただいております。
【参加者】 ・ 駅前の駐車場2件が変わり、無料利用時間が短縮されている。サービスの低下ではないか。市の考えを聞きたい。 ・ 溝沼の獅子舞を見に来る人が増えていない。せっかくの郷土芸能なので、もっと大切にしてほしい。それから、広げてほしい。	【副市長】 ・ 駐車場の利用料金は貴重な市の歳入になっており、そのお金を公共施設の管理に充てたりしております。公有財産の利活用の考えから行っております。市としては公共施設の利用料の見直しに着手しており、今後、公共施設の建て替え、建築など、大きな財政負担が生じますので、今回、利用料の

	見直しを行ったものです。 【市長】 ・駐車場の無料利用時間が30分から20分に短縮されましたが、20分で駅に行って、用を足して戻って来られるのか、職員に確認させました。その上で、時間を短縮しております。 また、今回、現金以外も利用できるようにしました。 ・私は、溝沼の獅子舞、以前より人が増えたように思います。私も後世に残していきたいと考えております。市では、そういった団体に補助をしております。また、根岸台に根岸野謡もありますので、そちらにも行ってほしいと思います。 広報あさかに掲載しているのは、皆様に多く知ってもらうためにしているものです。今後の課題としまして、次の代の成り手がなかなかいない、高齢化しているということです。
【参加者】 ・前回のタウンミーティングで、水道橋の錆びについて発言したのだが、それよりもひどいのは、本町隧道の錆びだ。今、ナフサが高額になっているので、鉄からアルミに全取り換えにした方がいい。 ・浜崎1丁目の畑の土地に市役所本庁舎を建設してはどうか。	【副市長】 ・今のイラン情勢により、防水材などのナフサが入りづらくなっており、市の公共工事にも影響が出てくるのではないかと思います。工期が延びることにより、経費が増えてくるので、市の工事を今の時期に発注することは、なかなか難しいと思います。また、業者さんも工期が見通せないため、工事を請け負うのが難しいとのことです。橋の改修については計画に基づき行い、また、緊急性のものは予算の範囲内で実施してまいります。 ・市役所本庁舎の用地については、お気持ちは分かりますが、課題となっております。基地跡地利用計画では、計画上ですが、国の土地となっております。

【参加者】 ・青葉台公園の公園管理者事務所の後ろ、テニスコートの裏にガーデニングがあり、ボランティアの方がやっている。 しかし、管理事務の方が変わったのか、「勝手に植えるな」とか言われたと聞いたが、そんなことがあるのか。 ・公園内に時計があるが、片面が調整中となっている。	【副市長】 ・市民の方がボランティアで花壇の整備をしてくれていることは、市が進めている施策になります。ボランティアの登録制度もあり、必要な備品をお貸ししております。お話の内容が事実としますと、市の考えと異なりますので、早速、指定管理者に確認させていただきます。 ・時計の修理については、少しでも早く直るように話してみます。
【参加者】 ・私は彩夏祭で毎年、給水係としてボランティアをしており、出場する人に塩分タブレットを配っている。毎年、同じものを配っているの、違うものかと思い、熱中症予防になる「はっさく飴」を見つけた。はっさく飴は、朝霞の東洋大で研究しているもので、これを配れば、シナジー効果が生まれると思う。東洋大研究が全国的なPRになると思う。	【市長】 ・「はっさく飴」の配付については、彩夏祭の実行委員会で判断することになりますが、前向きなお話をいただきました。市としても横並びではない、独自の施策を展開していきたいと思います。皆様からいろいろなアイデアをいただきたいと思います。
【参加者】 ・朝霞市教育委員会は部活動地域実行計画のなかで、今後、保護者の費用負担を想定している。費用が発生すると参加できない中学生が出てくるのではないかなと思う。クラブごとに費用を求めるかどうかの選択制にしてほしいと思う。	【副市長】 ・部活の地域移行については、国が令和12年までに計画しています。朝霞市は、人口が増えているので、こども達も急激に減っているということはありません。 一方で、全国的には、過疎化が進んで、最近、合併チームというものができてきています。こどもがスポーツをしなくなったのではなく、人数が少なくてチームを作れないということです。 国は、地域特性に応じて、地域移行を進めるように旗を振っています。朝霞市としては、市の特性を活かした地域移行を進めていきたいと思います。課題を整理して、皆様の意見を聞きながら、朝霞のモデルを作っていけたらと思いますので、御理解いただければと思います。

【参加者】 ・ランドセルの値段が保護者の負担になっているので、学校で安いランドセルを一括で販売したら、どうか。	【市長】 ・最近では、１０万円を超える高額なランドセルもあり、保護者の財政的な負担は大きなものになっております。 市では、ランドセルだけではなく、様々なリュック型のものも使用してよいとなっております。学校では、ランドセルという形のものでなければいけないとは言っておりませんので、しっかりと周知していきたいと思います。 市として、安価なものをお渡しするという事は難しいところです。
【参加者】 ・私立高校の無償化により、公立高校の志望者が減少し、公立高校の対応が求められている。将来的に高校だけでなく、中学校にも波及するのではないかと思います。これからは公立中学でも個性的で魅力的なことが問われていると思う。 そこで、朝霞の中学校に運動部としてブラジリアン柔術部を創設してはどうか。ブラジリアン柔術は寝技だけの競技で、最近、芸能人がやっていて注目を集めている。投げ技がないので、怪我をしづらく、体力のない中学生にも適している。中学校でブラジリアン柔術部は稀で、全国的に少ないので、全国大会で優勝も狙えるのではないかな。将棋のように頭を使うので、練習後には雑念が取れ、すっきりする。指導者も近隣市にいます。 ので、教員の負担軽減にもなる。	【市長】 ・ご提案ありがとうございます。部活動の地域展開がこれから本格的に始まっていきます。先生方の負担を軽減しながら、地域で部活が持続可能なものとなるように進めていくものです。その中で、こども達がブラジリアン柔術をやりたいということであれば、取り入れられるのかなと思います。
【参加者】 ・給食費を暫時下げられないのか。 ・上下水道のインフラの交換が全て終わっ	【市長】 ・給食費については、小学生は今年度から６千円から８００円に軽減されております。

ているのか。 ・オンデマンドタクシーの要望	す。中学生は、給食費6,800円の半額の3,400円分を市が負担しております。 ・デマンドの交通については、7月から補助をさせていただくことになっています。対象の方は、75歳以上の方、要介護者、妊産婦などです。広報あさか6月号でもお知らせしていますが、申請が必要になりますので、ご申請いただければと思います。今年度は実証実験として始めさせていただきますので、皆様方からのお声をいただきながら、より良いものにしてまいります。 【副市長】 ・緊急的に取り組んでいるのは、八潮市の道路陥没事故を受けての対策です。朝霞市には八潮市ほどの大きな管はありませんが、点検をして修繕しております。そのほか、路面下の空洞調査を今年度実施する予定です。 上水道については、すでにストックマネジメント計画を策定しており、年度ごとに実施箇所が決まっております。水道は、県から県水を買っているのがかなり占めており、県水の値段が上がっているのです、上水道の値段の議論を今後しないといけないと思います。 下水については、今後、全国的に老朽化が進んでいきますので、しっかり議論しないといけないと思います。
-------------------------------------	--

